

OB 会報送付のご案内

武漢を発生源とする新型コロナウイルスには、初期の対応を怠った政府のおかげで大混乱に陥り、いまだ感染者も減らず、特に高齢者は命にかかわることなので、戦々恐々としなければならないこの頃です。

写真部 OB 会も、今年の OB 総会の準備に当ってまいりましたが、大学より会合の自粛を要請され、通常の開催ができないこととなり、改めてどのような方法で進めていく事になるのか議論をしなければならないことになりました。そのことは追ってご連絡いたしますが、ウイルス騒動を何とかやり過ごそうと OB 会報の発行を進めて参りましたのでお届けすることになりました。ご覧いただきご意見や投稿などありましたら事務局までお申し出下さい。

□ OB 会費のお願い □

2 年後に控えた創部 90 周年にあたって企画が進んでおりますが、実行に際しそれらを実現するため OB 会の予算を拡充したく、それには OB 会員の皆様の会費や寄付に頼るしかございません。今年度の会費納入依頼に 4 月時点で 70 余名ほどのご協力がありましたが、今年度の予算 100 名分には達しておらず、過去の実績では延べ 140 名ほどのご協力を戴いております事から、うっかり忘れていた等のこともあろうかと、再度ご協力をお願い致します次第です。

このご案内に払込票を同封いたしました方は、今年度は会費のお支払いが確認できない方です。送金先や送金者のデータは払込票に印刷してあります。年会費は 3,000 円、その他に 1 口 1,000 円からの寄付金を募っていますので、それらの合計金額と明細を記入するだけでいいので、ウイルス騒動で郵便局の対面手続きを避け ATM で送金していただきますようお願い申し上げます。また、ゆうちょや銀行もダイレクトなどネットバンキングなどもご利用できます。銀行をご利用の方は

みずほ銀行 国分寺支店 普通預金口座番号 4211892 口座名 東京経済大学写真部OB会
までご送金ください。

□ 今後の OB 会活動（月例会開催） □

かねてより懸案の OB 月例会を行いたいと思います。年 4 回に分けて 1, 4, 7, 10 月の末日締切で実施いたします。課題の部と自由作品の部に分けて実施します。(応募先:メール等で事務局迄送付の事)

課題の部(最優秀賞者には 1 万円の図書券贈呈)

春(1月)、夏(4月)、秋(7月)、冬(10月)の四季に合わせて季節らしい風景や出来事を写したもので、最優秀に選ばれた作品は母校 OB 団体の葵友会が発行する「東京経済」誌の表紙の新年号、4月号、7月号、10月号に掲載されます。掲載されますと副賞として 1 万円の図書券が贈呈されます。(注:原則として受賞される方は葵友会員でなければならないので、会員になっていない方で受賞される場合は同時に葵友会費を支払って会員になっていただきます。それとは別に入会ご希望者は事務局までお申込み下さい。)作品は 4:3 の縦位置サイズ、印刷に堪える画素数でご応募下さい。採用された写真とお名前は 2 万名弱の葵友会員の皆様の目に入ることとなります。同時に「表紙の言葉」を 800 字程度で投稿をお願い致します。現在は 10 月号の秋らしい風景や出来事の写真を 7 月末締切で募集をしています。ふるってご応募ください。

自由作品の部

課題の部と同時に締め切り募集します。内容もサイズも全く自由です。ご応募作品は OB 会のホームページに掲載し発表します。

機会がありましたら、今後 OB の写真展を開催したいと思っております。皆様の活躍を期待しています。

□ お知らせ □

先日、私たちが愛読していた「アサヒカメラ」が7月号で休刊となりました。カメラの歴史も300有余年前のカメラ・オブスキュラを始めと言われていますが、その後ブローニーフィルムから35ミリフィルムを使用した現在のカメラが出てきて100余年の歴史となります。ライカのように1台のカメラを購入するのに当時の東京の土地付き住宅が買えるほど高価な機械から、その発展の歴史もフィルムのアナログ時代からデジタルになって、今や専用のカメラでなくても携帯に内蔵されて写真を撮れる時代になったのです。カメラメーカーに支えられて



いる雑誌としてはメーカーの陰りが現れたと言っても過言ではないようです。何か寂しさを感じます。そんな感情を吹き飛ばしてくれるような出来事がありました。その最終号の表紙を飾ったのが写真部OBでOB会の副会長を務めて戴いている山口芳則（ハービー山口）さんで、彼の学生時代に撮ったセルフポートレートが表紙になったのです。私達にとって休刊の寂しさより最終号の表紙を私達写真部時代に山口さんが撮った写真が飾ったことの方が誇らしいことで、大きな事でもあります。

このことをOBの皆様と喜びを分かち合い、この出来事に触発されて写真から遠ざかっていたことを思いおこして再チャレンジの機会にして頂きたいと思います。

□ 訂正 □

会報の「2020年度の役員名簿」で(平成7)白岩壮一さんが抜けております。追加してお詫び申し上げます。

■ 訃報 ■

6月28日にOB会報の編集をやって戴いていた鈴木歌子さんがご逝去されました。今回の会報発行にも直前まで携わって戴いて、あまりにも突然なので驚いています。皆様にはその遺作を今回見て戴いていることになります。

ご冥福を心からお祈りいたします。

東京経済大学写真部OB会 会長 田原 弘 行
東京経済大学写真部OB会事務局 佐川 重 章

E-mail : sagawashigeaki@yahoo.co.jp

〒211-0011 川崎市中原区下沼部1774-9-302

電話 080-8895-1176



川山明雄 (S45)、鷺野健児 (S46)、山本正一 (S49)、大徳芳之 (S50)、北川一秋 (S50)、谷田茂 (S50)、勝又松男 (S51)、佐川重章 (S52)

2019年7月9日(火)、千葉県市原市の南総カントリークラブでOBゴルフ会を開催しました。

2月のOB新年会で出席者からOB会でゴルフをやるかと話が出て、田原会長の賛同を得て開くことができました。

参加者は8名です。大徳氏は遠く鹿児島からの参加でしたが、同期の北川氏、谷田氏の熱い呼びかけに応じて参加されました。S50年卒の結束の強さの現れでしょう。

さて当日は梅雨の真ただ中にも関わらず雨は降らずカンカン照りにもならず、天候は絶好のゴルフ日となりました。

ゴルフコースはクセの少ない良いコースで、ジグザグ前進や池ポチャすることもそんなになく、全員無事18ホールをプレーできました。

新ペリア方式での競技としましたが、優勝は勝又氏(ネット72.6)、準優勝は0.4ポイント差で大徳氏、3位川山氏、以下鷺野氏、谷田氏、佐川氏、ブービーは山本氏、ブービーメーカーは北川氏の順でした。ベストスコアは85の大徳氏でした。

プレー後のお茶会で、十年以上前だがOB会で定期的にゴルフコンペをやっている、飯野氏(S46)や女性の方も参加されていたとの話があり、今後川山氏にゴルフ会の会長になっていただき、年1回開催しようということになりました。だいたい先ですが、来年は5月25日(月)に決まりました。場所は未定ですが、多くの方の参加をお待ちします。

私は仙台(塩釜)から戻って以来5年振りのゴルフでしたが、2週間前に2時間練習しただけで大胆にも参加しました。しかし、意外と身体は覚えていて、同伴者の足手まといになることも少なく(同伴者がどう思っているかは別)、結構やれるな〜という感じでした。ですので、最近ゴルフから遠ざかっている方でも心配いりませんので、ぜひ来年参加してください。



以上、TPC OB ゴルフ会の報告でした。(佐川記)

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言から2か月、一部解除とはいえ三密禁止、外出自粛期間はまだまだ続きそうで、現役の写真研究会並びにOB会の活動スケジュールも変更を余儀なくされました。

◆春季学外展…3月13日～14日
武蔵小金井宮地楽器ホールにて
開催予定→中止

◆第2回OBゴルフ大会…5月25日
成田東CC開催予定→秋に延期

夏以降のスケジュールも現在は白紙状態です。決まり次第ご連絡いたしますので、皆様健康に留意の上、お過ごしください。「Never Waste a Good Crisis」この危機を無駄にするな。流されず、有意義に。

ゴールデンウィーク

2020のGW、どう過ごしましたか？

未曾有のコロナ禍において「STAY HOME、不要不急の外出自粛」が続いた今年のGW、
 がっかりウィークとか頑張れウィークと称されましたが、OBの皆さんはどのように過ごされていたのでしょうか。
 緊急事態宣言は5月まで続きましたが、4月下旬のGW期間中に近況をお伺いしました。
 (連絡が付く方だけにお伺いしました。近況をいただける方は
 編集鈴木 amisympa@crocus.ocn.ne.jp またはOB会事務局にご連絡ください)

■最近読んだ3冊の江成常夫

横内 明人 (S48) 埼玉県在住

公園の側に住んでいるので散歩を日課にしています。花水木が満開になってきました。雨が降ると、読書です。ちょっと前までは図書館のオンライン予約活用が先週からは完全に閉鎖されてしまいました。「花嫁のアメリカ」「シャオハイの満州」「花嫁のニッポン」江成常夫さんの3冊読みました。木村伊兵衛賞の「花嫁のアメリカ」は重く感じました。満州の歴史、外国人から見た今のニッポン 色々な視点があって考えさせられました。



日常にあふれる自然の中でたのしみ

■テレワークで在宅勤務

佐川 重章 (S52) 神奈川県在住

会社はテレワークを開始し、週2日程度は在宅勤務をしています。情報通信ツールの発展で問題少なく仕事を続けています。コロナに対する防御(人込みに近づかないことと手洗いをしっかりすること)を厳重にし、感染しても自己免疫で撃退できるよう食事と睡眠を心がけています。最近、スーパーの人込みを避けたいなー、と思っています。



■植菌作業に没頭

佐々木 英和 (S50) 千葉県在住

緊急事態宣言で次々に出荷先が休業し、シイタケを生産しても売れません。数少ない出荷に時間が掛かりませんので、帰った後は秋以降に向けて、ひたすらに原木に菌を植える作業に没頭しています。



■ウォーキングでストレス解消

北川 一秋 (S50) 神奈川県在住



ウォーキングの楽しみは花の移ろい

巣籠もり自粛生活も一ヶ月を過ぎました。1日一時間程度のウォーキングで運動不足とストレス解消を目指す毎日。電車、バスとは縁のない生活です。コロナ禍で大変ですが、我慢の時です。頑張らしましょう。

■ゴルフができず、散歩と読書

谷田 茂 (S50) 東京都在住

私は毎日が stay home ですがゴルフにも行けず、散歩と読書に明け暮れています。

■作品作りに集中

荒川 弘之 (S50) 神奈川県在住

新型ウイルスで自宅監禁状態。元々引きこもり傾向と療養が主であったのでそれ程苦ではなく作品作りに集中しています。

■高知は経済への影響が心配

前田 容子 (S48) 高知県在住

高知も、自粛していますが、空気感のピリピリは、まだましな感じです。経済の影響どうなるか…。新しい時代の前の揺さぶりのかな…。



■自由と不自由どっちがいい？

鈴木 歌子 (S50) 千葉県在住

昨年の夏は台風で停電生活を余儀なくされ不自由を体験しましたが、今回のコロナ禍では、仕事のいくつかがキャンセルになり、自由な時間がたくさんできました。



■岡山でも隔日出勤

白岩 壮一 (H7) 岡山県在住

近況報告です。今回の緊急事態宣言で、隔日出勤になっています。

ただ、テレワークができるわけでも仕事が減ったわけでもないで、出勤日に大変になっています。



■忙しかったGW

磯崎 敬一郎 (S52) 茨城県在住

GWは、いつものように仕事で忙しく動いていました。家庭に家族がいるのでケーキでもと思うようです。有り難いです。先は不透明ですが、頑張るほかないですね。



磯崎氏のお店『ル・ブラン』

■鹿児島は朝風呂温泉も可

大徳 芳之 (S50) 鹿児島県在住

コロナ禍の影響は鹿児島でも多分にありますが発症者は県外からの流入者だけです。ただ生活しやすい環境なので、ストレスも感じていないのが現状です。温泉も営業中。



■コロナ感染?疑いで終わった顛末

田原 弘行 (S44) 千葉県在住

鈴木編集長から皆様に武漢(私は発祥地からこう呼ぶことにしている)ウイルスの蔓延から非常事態宣言で外出もままならない皆様にエールコールをとの依頼がありました。

わたし自身正月休みで中国の重慶に行って帰国したら武漢ウイルスの発生したことをニュースで知ったのですが、間もなく1週間後くらいして咳が出始め、風邪薬を飲んでも効かず、だんだん肺が痛くなってウイルスが気になりかかりつけの病院に行ったとこ



重慶の人民大禮堂

ろ、問診票に中国への渡航履歴を聞く欄があって、それにチェックしてみなさんがいる待合室で待っていたら、看護婦さんが飛んできて離れた別室に連れていかれ、いろいろ聞かれてそこで鼻から検体と肺のレントゲンを撮り診察室に行ったのでした。中国から帰ってすぐに症状が出ないのは潜伏期間だったのかと、感染1号になるのか心配になったのですが、肺炎の症状が見られないのでしばらく自宅で様子を見るように、それまでは平熱だったので熱が出たらすぐに連絡するように、特別室が用意してあるからといわれて少し安心して帰ったのですが、そのあと咳も収まり風邪も治ったようでした。その後、志村けんのニュースで持病があったり無茶をしている人など感染したら即命にかかわることが切実に自分の身に置き換わり怖くなりました。今はほとんど外出する事もなく閉じこもり状態です。今までは結構仕事に追われて余裕がなかったせいも気づかなかったのですが、しばらく前にポイントが余っていたのでそれを使ってコンポを購入しました。買ってすぐエイジングをしようとスピーカを布団で包んでボリュームを上げ重低音のきいたCDをかけていたら、ガラスがびりびりとするくらい鳴っていることを思い出して、特に私が青春だったころの1960年前後の曲を集めた自作のアルバムを聞き始めました。スピーカから流れる音で、今はこの殺伐としたウイルス騒動からとても癒されています。そして撮影に出かけることもままならない現在ですが、騒動が終わったら出かけようという思いをめぐらしています。ダメといわれるとやりたくなるのが人の常、これも神様が与えてくれた贈り物だと、この時に感謝しています。



東京経済大学同窓会誌「東京経済」No.372の表紙写真にOB会田原弘行会長の作品「異国の花壇」が採用されました。中国大連の「アカシア祭り」に中国政府関係者の招待で参加したときの「中山広場」での1カットです。



◆ OB 総会報告

総会は11月2日(土)、13時半から例年通り大学6号館7階の中会議室で行われました。

1時過ぎから三々五々会場受付にOBが現れはじめ、受付と個人撮影を済ませると昔の顔見知りを見つけ、お互いの健康を確認し歓談する様子が見られました。総会参加者は20名でした。



写真前列左側から石井斉(S40)、荒川弘之(S50)、入澤治之(S40)、田原弘行(S44)、松村文夫(S40)、黒澤健一(S40)、青柳卓(S40)、後列左から、佐々木英和(S50)、松井克美(S52)、近藤一高(S50)、久住和也(S51)、原田益孝(S53)、横内明人(S48)、平野勝敏(S43)、北川一秋(S50)、谷田茂(S50)、山本正一(S49)、白岩壮一(H7)、川山明雄(S45)、佐川重章(S52)

総会は現役OB委員の船越裕貴さん、八ッ橋駿太さんの会で開会されました。最初に田原会長より挨拶があり、「写真研究会は2022年に創部90周年を迎える。OB会は昭和41年に正式に発足して50年を超える歴史があるが、90周年に向けて活動をより活発化させたい。」との熱い思いが語られました。議事に移り、全て提案通り承認されました。続いて役員改選があり、新役員の紹介と参加者全員の紹介がされた後、全員で記念撮影をして総会を終了。大学と葵友会共催のホームカミングデーに参加しました。

◆承認された2020年度の役員は次の通りです。

- 会長：田原弘行(S44)
- 副会長：山口芳則(S48)
- 同：谷田茂(S50)
- 同：荒川弘之(S50)
- 会計：北川一秋(S50)
- 監査：横内明人(S48)
- 理事(総務) 平野勝敏(S43)
- 同(総務事務局) 佐川重章(S52)
- 同(機関紙編集) 鈴木歌子(S50)
- 同(ホームページ) 竹村倉二(S53)
- 同(組織活動) 佐々木英和(S50)
- 同(組織活動) 原田益孝(S53)
- 同(組織活動) 水沼秀樹(S61)
- 同(組織活動) 吉岡昌宏(H2)

◆ 葵友会主催新年午餐会参加

令和2年1月11日(土)本校大倉喜八郎進一層館において新年午餐会が開催されました。今年も第一部は落語芸術協会副会長の春風亭柳橋師匠(S55)等による落語と講談を楽しみ、第二部では、懇親会が行われました。OB会からは田原会長はじめ有志が参加しています。

◆ OB 新年会とハービー山口写真展

令和2年2月15日(土)東京茅場町「イタリアンレストラン、トラットリアアカヤバッチョ」にてOB新年会が開かれました。

今年は現役幹部8名が加わり、賑やかな新年会になりました。参加者は次の18名です。



OB出席者：田原弘行(S44)、磯部芳治(S48)、横内明人(S48)、荒川弘之(S50)、北川一秋(S50)、谷田茂(S50)、佐々木英和(S50)、久住和也(S51)、佐川重章(S52)、原田益孝(S53)

現役幹部：白濱悠太(幹事)、西村和希(展示責任者)、井上創太(OB委員)、昇怜音(OB委員)、富宮大智(渉外)、宮崎真美(企画)、竹内美葵(技術)、田中聖人(合宿)

ハービー山口さん(S48)の写真展「Days I Remember」を神保町の「SUPER LABO STORE TOKYO」で開催しているとのことで、OB8名で見に行ってきた。ダイアナ妃を撮った写真や雪の日のタイヤ痕などのロンドン時代の写真やハービーさんの優しさが感じられる写真が展示されていました。



後列中央が山口氏

※デザイン協力：アミサンパ

奥付：東京経済大学写真部 OB会報

編集発行：東京経済大学写真部OB会
会長 田原弘行

発行日：2020年6月

事務局：佐川重章 tpc.sagawa@gmail.com

